

2016年度 第1四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD.

単位:百万円 表示:百万円未満切捨

	連	結		2015年度	2016年度	前年同期比
売	£		高	7,738	7,578	159
営	業	利	益	157	189	+ 346
経	常	利	益	144	6	+ 150
親会当	社 株 主 期 紅		する 益	137	69	+ 206

為替レート

\$=121.74円 ₩=0.1108円 \$=108.54円 ₩=0.0934円 \$=ドル ₩=韓国ウォン





- ・売上高は、円高の影響や、イメージング材料の 需要の減少等により、159百万円の減収
- ・営業利益は、売上が減少したものの、 原燃料価格の低下やコストダウン等の寄与により、 346百万円の増益
- 経常利益は、営業外で為替が差損に転じたものの、 営業利益の増加により、150百万円の増益
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、 経常利益の増加に加え、特別利益の増加等により、 206百万円の増益

セグメント	事業	主要製品
	有機EL材料	正孔輸送材料、電子輸送材料、発光材料
機能性色素	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
機能性樹脂	建築材材	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	ホスゲン誘導品(医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体)
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロ サイエンス	農薬等	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業



5

セグメント別 売上高



単位:百万円

表示:百万円未満切捨

	セ	ブメ:	ント		2015年度	2016年度	前年同期比
機	能	性	色	素	1,895	1,756	138
機	能	性	樹	脂	2,905	2,826	▲ 7 8
基	礎	化	学	品	1,626	1,622	4
ア	アグロサイエンス				827	732	4 94
物	流		関	連	443	590	+ 146
そ	そ の 他			他	39	49	+ 9
合				計	7,738	7,578	159





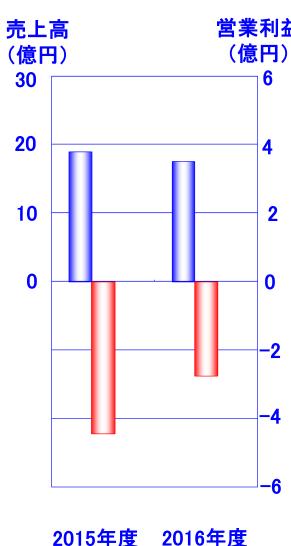
単位:百万円

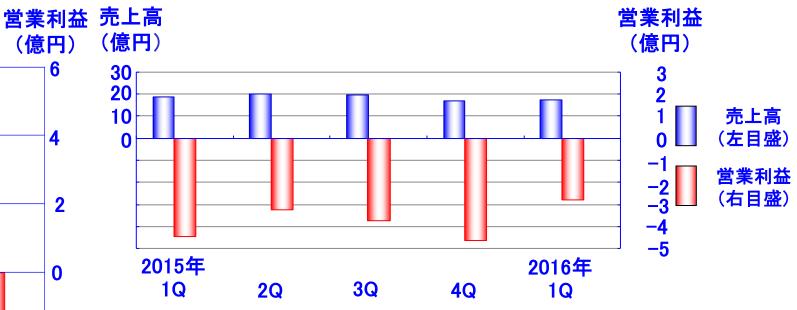
表示:百万円未満切捨

	セ	ブメ:	ント		2015年度	2016年度	前年同期比
機	能	性	色	素	443	▲ 275	+ 167
機	能	性	樹	脂	56	142	+ 85
基	礎	化	学	品	157	176	+ 19
ア	ブロ・	サイ	<u>'</u>	ノス	5	0	5
物	流		関	連	88	160	+ 72
そ		の		他	A 21	▲ 15	+ 6
合				計	157	189	+ 346



セグメント業績動向(機能性色素)





イメージング材料 ・プリンター向けで厳しい状況が継続しており、減収



有機EL材料

ディスプレイ分野で着実な広がりを見せているが、 同時に競争も激化し、減収

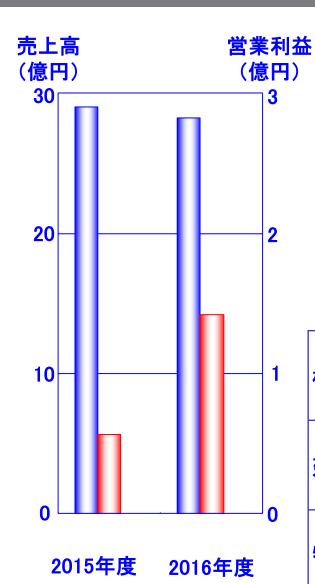


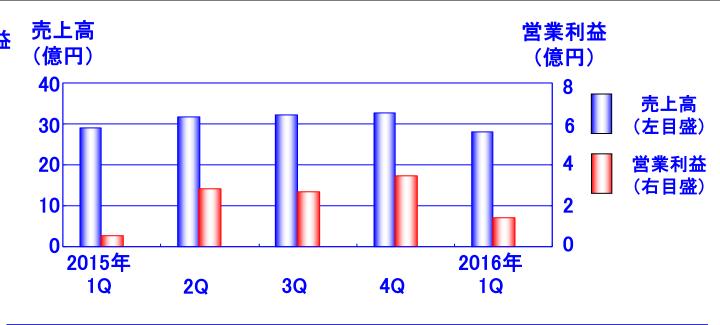
色 材 デジタル家電向けアルミ着色染料が、 好調に推移し、増収





セグメント業績動向(機能性樹脂)





・弾性繊維向けおよびタイヤ用途向けで 樹脂材料需要は好調であったが、 建築用途向けで競争が激化し、減収

建築材料

殊化学品

特

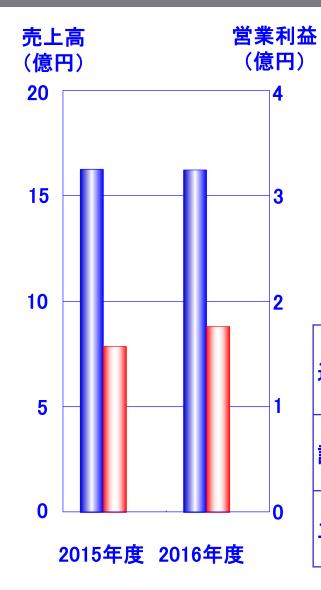
・ウレタン防水材料が競争激化により低迷したが、 防水工事で大型物件を獲得し、前年同期並み

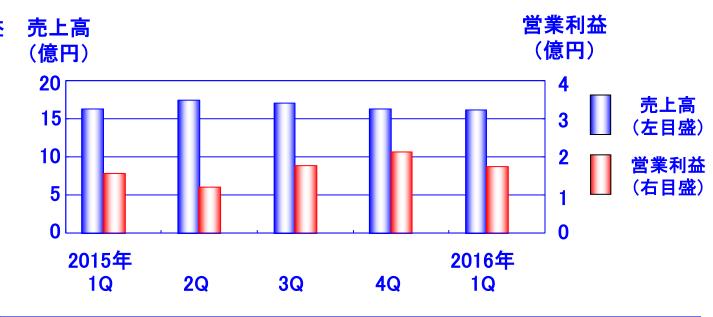
・医薬品分野で顧客の在庫調整があったが、 その他の分野で需要が増加し、増収





セグメント業績動向(基礎化学品)





・紙パルプ向けで需要が減少し、競争も激化したが、 過 酸 化 水 素 工業薬品向けでの需要が増加し、前年同期並み

|誘 導 品(※) ・家庭用洗剤向けが増加し、増収



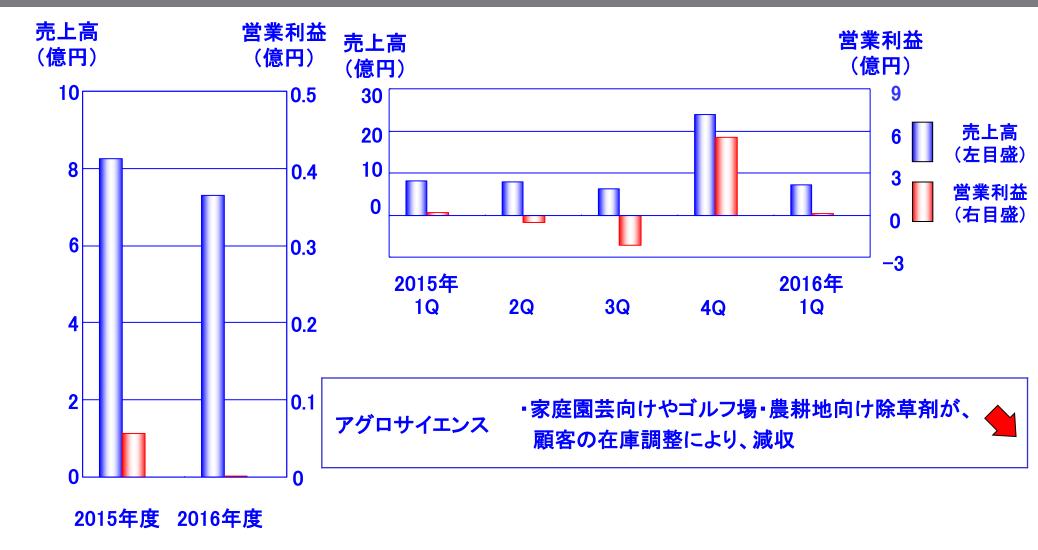
工 業 薬 品 ・競争が激化し、減収



※過炭酸ナトリウム、過酢酸



セグメント業績動向(アグロサイエンス)



セグメント業績動向(物流関連)

